

2022年5月9日

東京医科大学 2021年度 看護学科卒業時アンケート 結果報告書

教育 IR センター

○調査概要

調査日：2022年2月14日

調査対象：看護学科4年生

回収率：96.6%（回収数：85、分母は2021年度看護学科卒業生：88）

調査方法：看護師保健師免許交付手続きの説明会後に、質問紙調査を実施した。

○結果報告

当該年度において、選択された割合や人数を単純に表記している。無回答を含むため、選択者の計は回答者の計に一致しない場合がある。

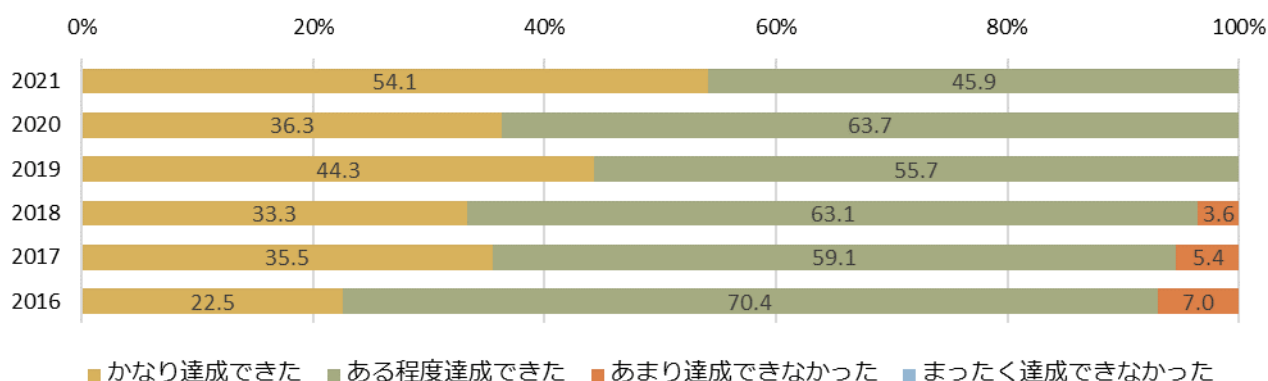
問1. 以下の項目は、東京医科大学医学部看護学科の教育到達目標です。それぞれの目標をどのくらい達成できたと思いますか。

学習成果（教育期間の修了時に達成される知識・技能・態度）である6項目の教育到達目標について問う設問である。

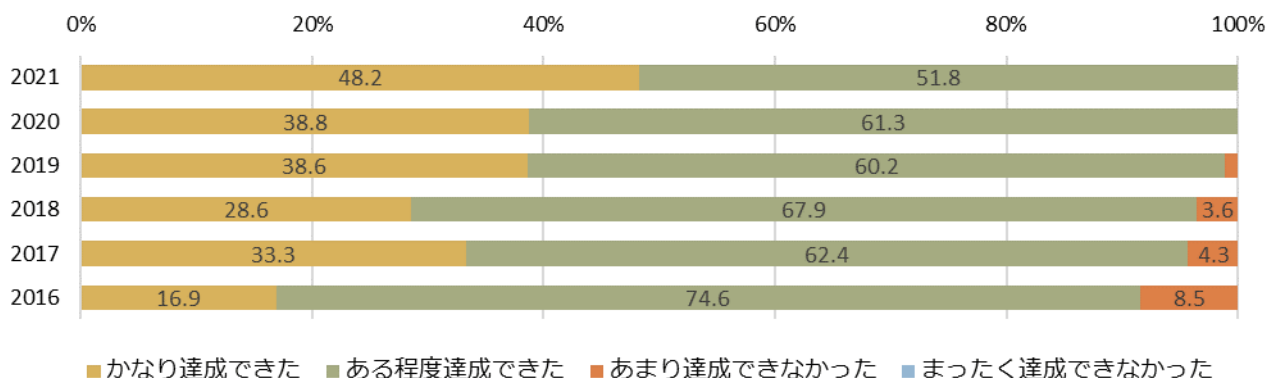
2021年度は全ての項目で、「かなり達成できた」「達成できた」の合計が85%を越え、特に、「1. 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」、「2. 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる」は100%、「3. 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う」、「4. 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる」、「5. 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させる力を養う」はいずれも97%を越えた。

経年変化では、全ての項目において、2016年度から「かなり達成できた」「達成できた」の合計が増加している。

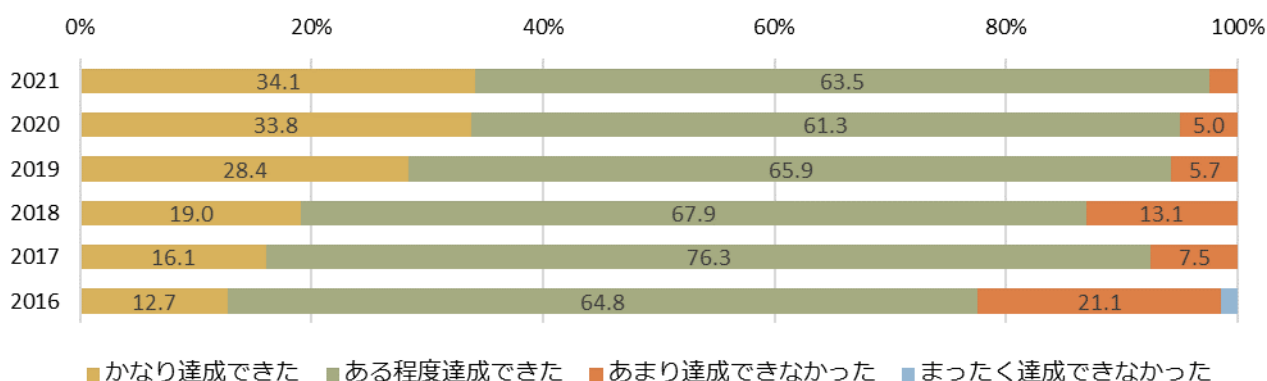
1. 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる。



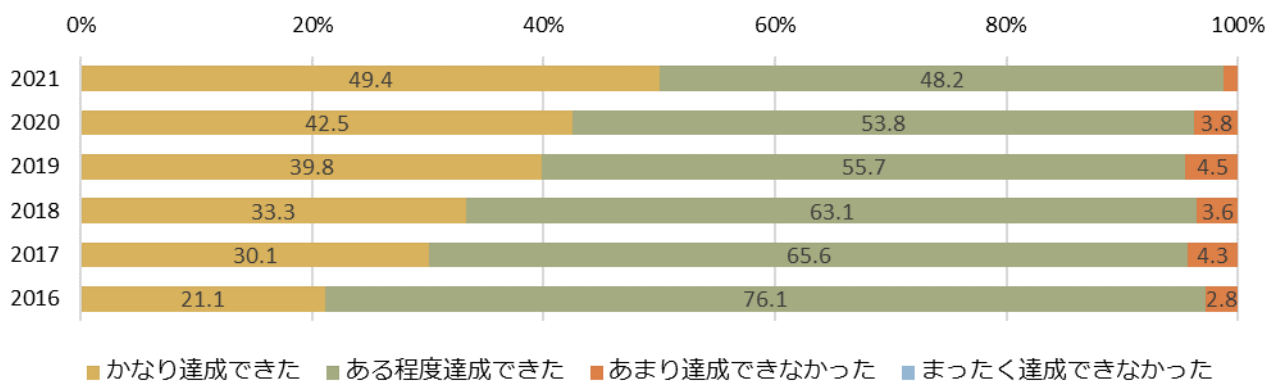
2. 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる。



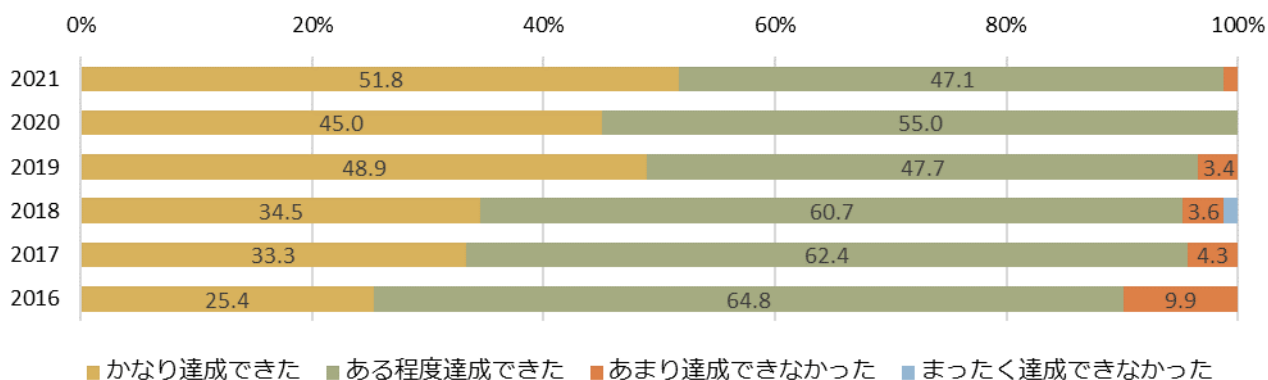
3. 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う。



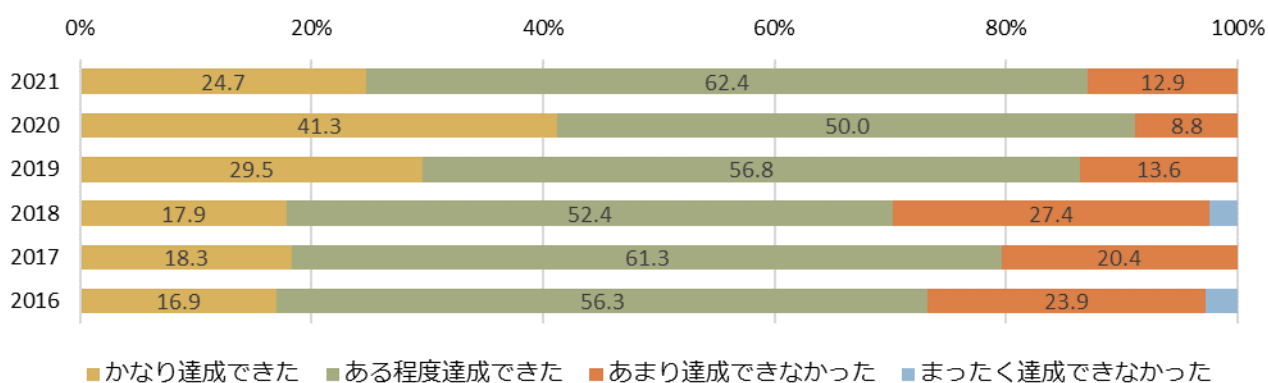
4. 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる。



5. 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させる力を養う。



6. 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う。



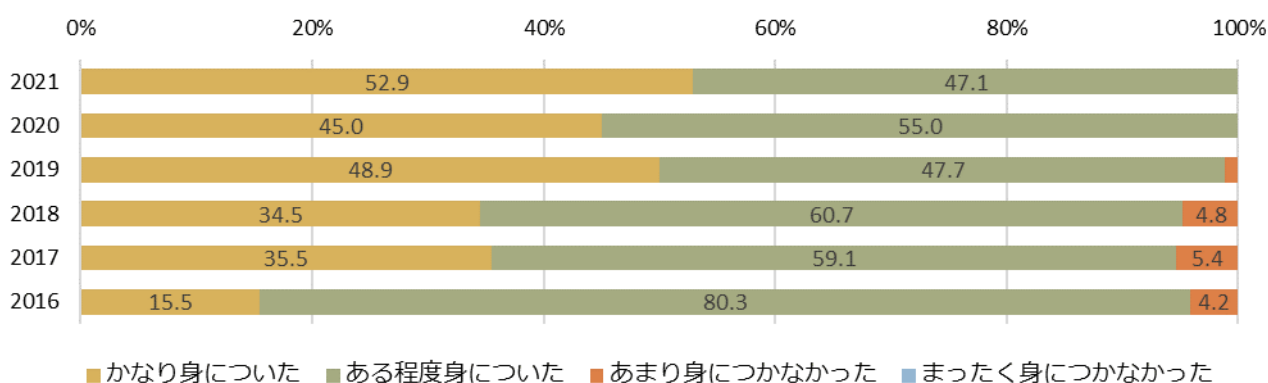
問 2. 東京医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか。

卒業までに身につけておくべき、知識、汎用的技能（情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力など）、態度などの 15 項目の能力がどのくらい身についたかを問う設問である。

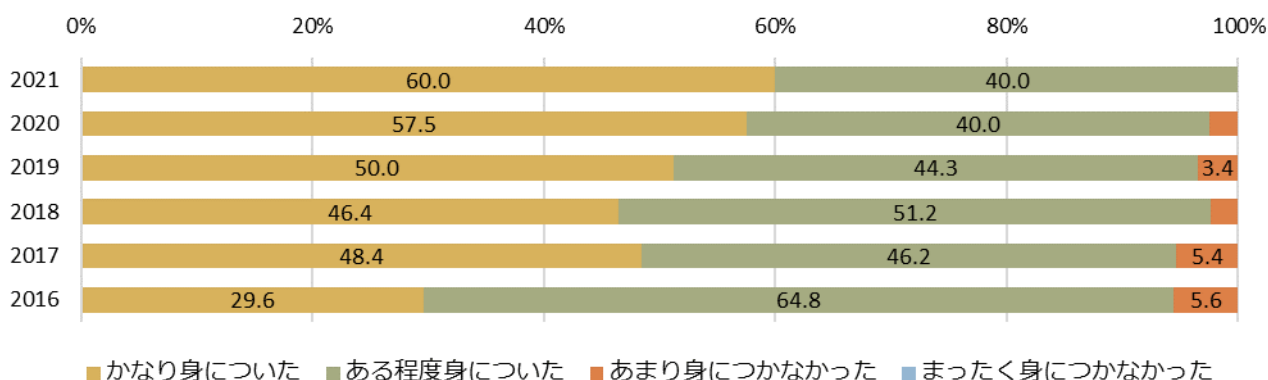
2021 年度の結果は、「かなり身についた」「ある程度身についた」の合計が 95%を越える項目が、12 項目（1,2,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13）であった。一方、「かなり身についた」「ある程度身についた」の合計が 90%未満だったのは、「3. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力」（84.7%）、「15. 語学や世界情勢への関心など、国際的な視野」（75.3%）だった。

経年変化を見ると、全ての項目において、2016 年度から「かなり身についた」「ある程度身についた」の合計が増加している。

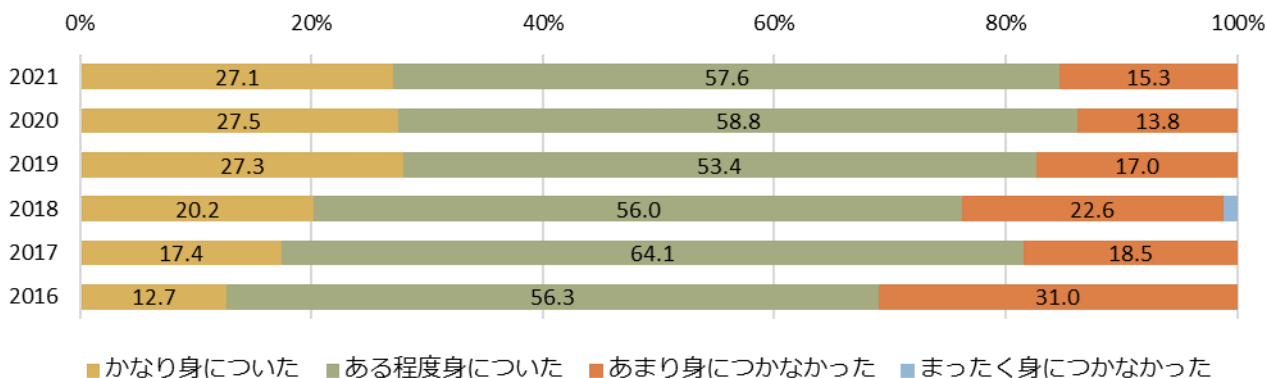
1. 豊かな人間性と社会を見る広い視野



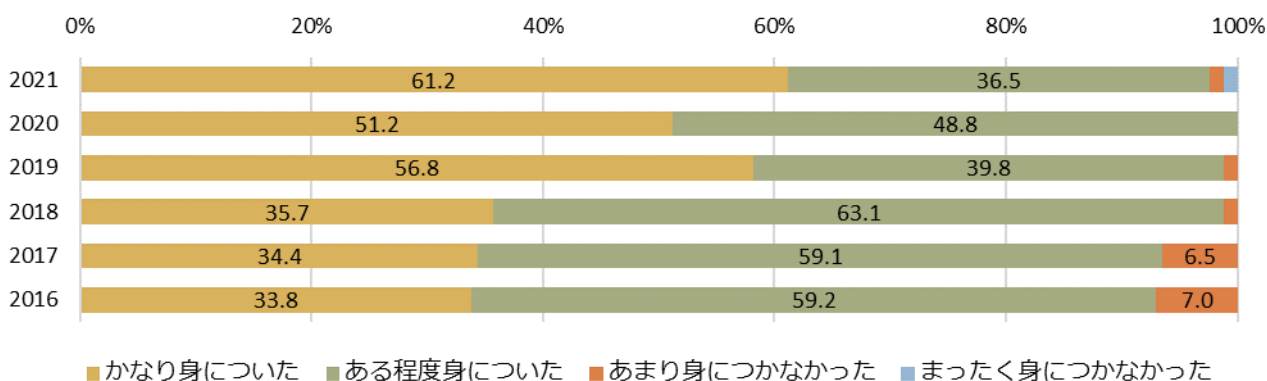
2. 援助的人間関係を形成できる能力



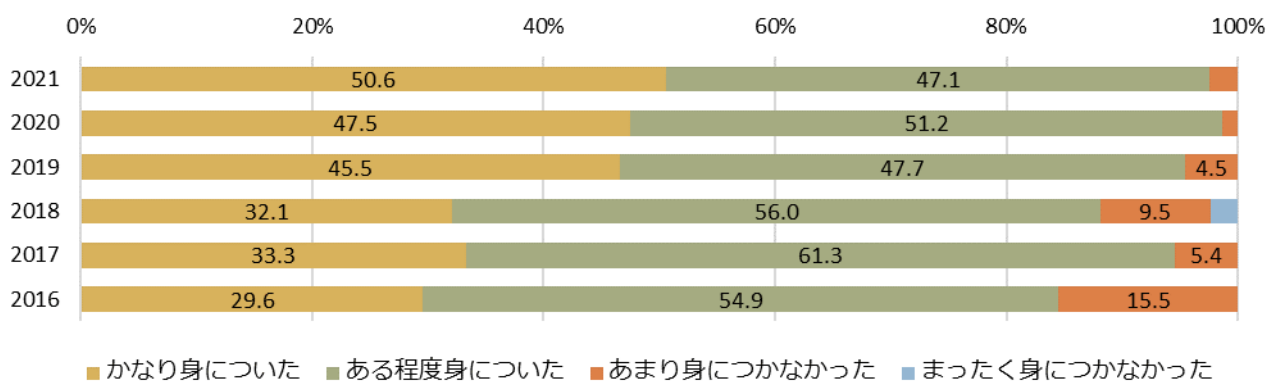
3. 組織や集団をまとめるリーダーシップの能力



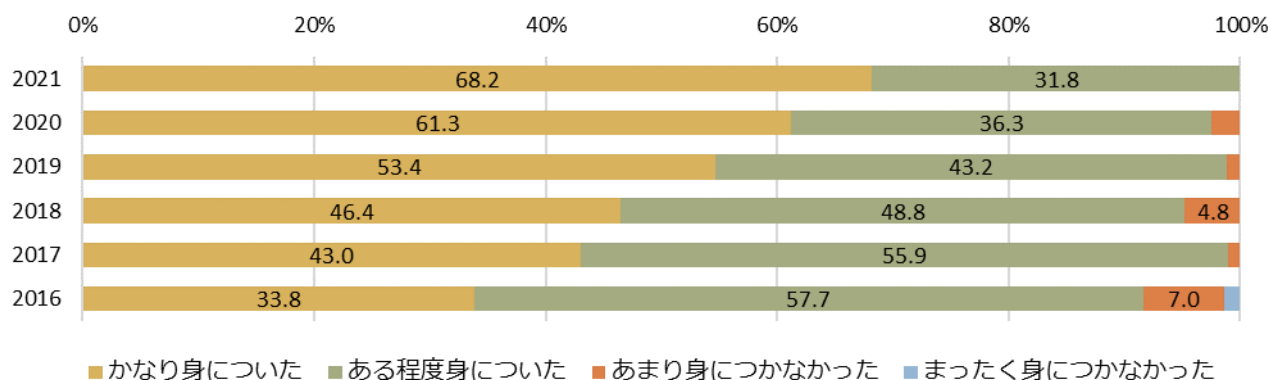
4. ものごとの問題点をみつけ解決方法を論理的に考える能力



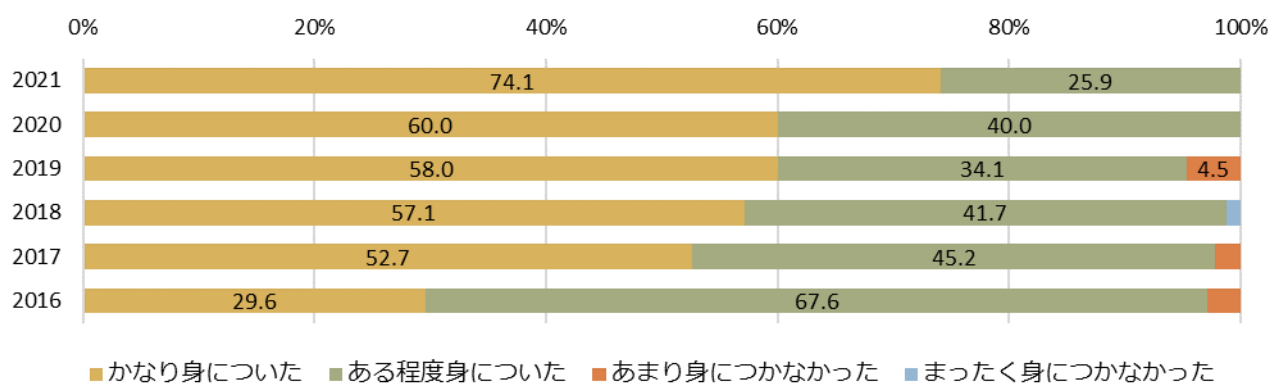
5. 自己研鑽・自己啓発を継続的にできる生涯学習能力



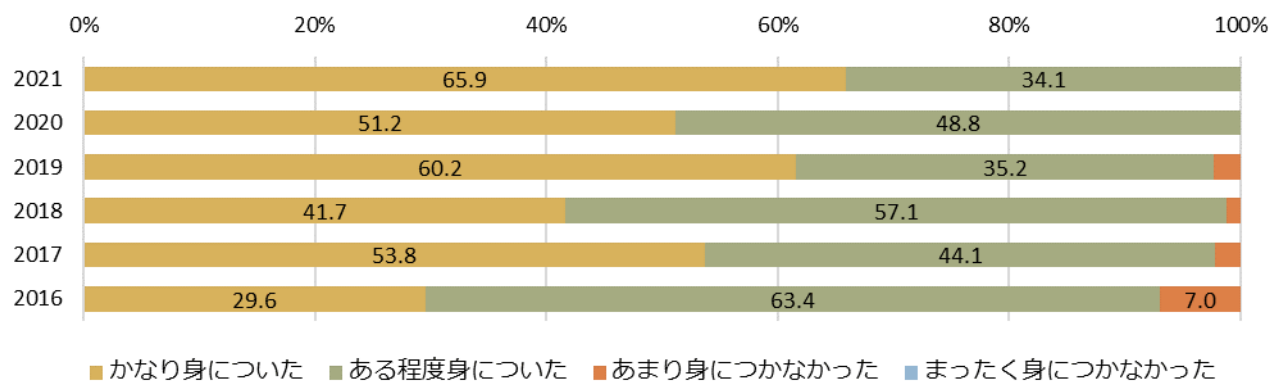
6. 礼儀・協調性・責任感など社会生活に必要な能力



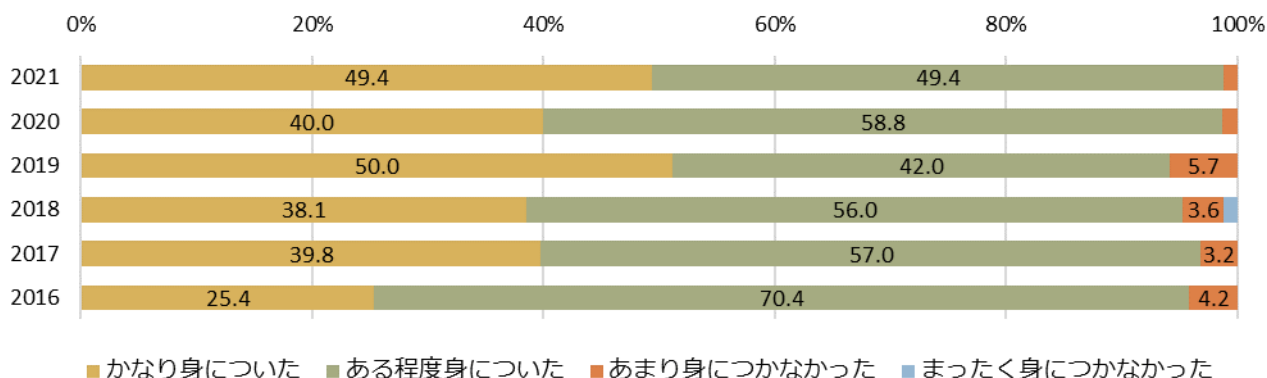
7. 看護師としての倫理観



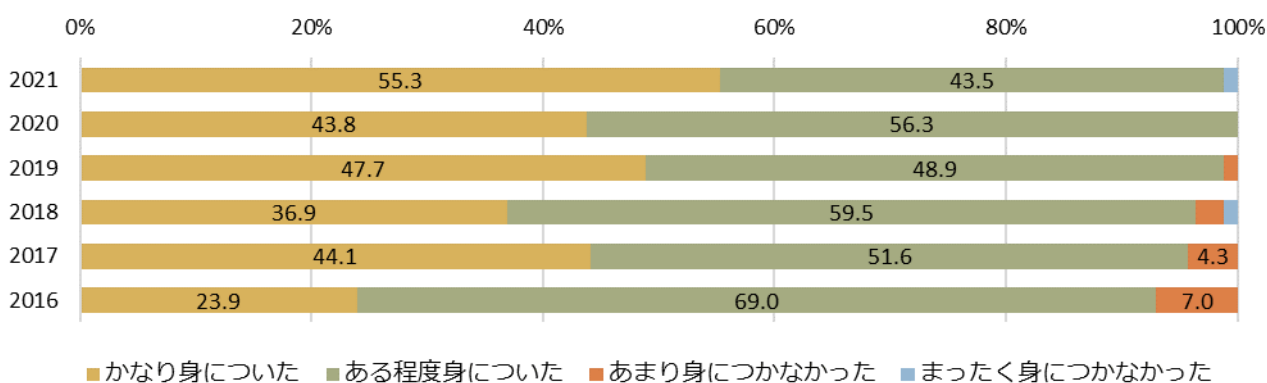
8. 看護学や医学に関する専門的知識



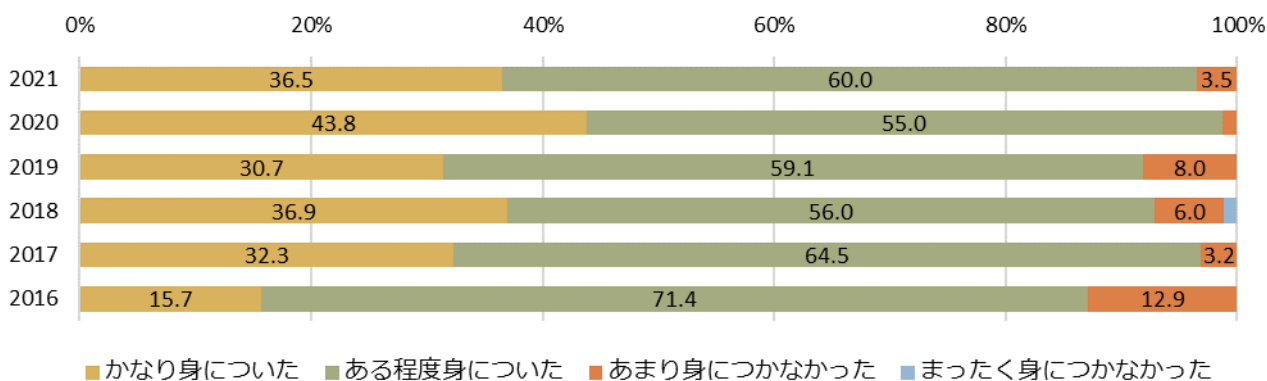
9. 看護の独自性や専門性を発展させる能力



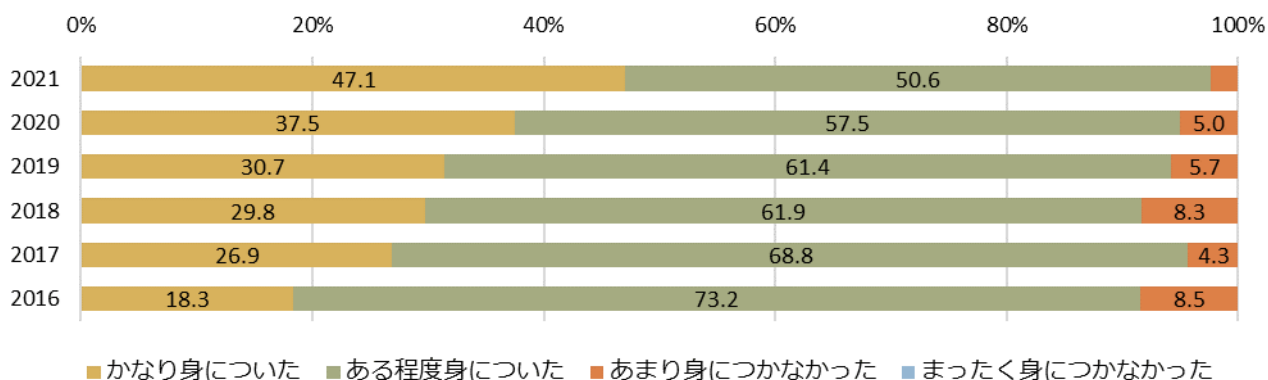
10. 科学的根拠に基づく看護判断力と看護実践力



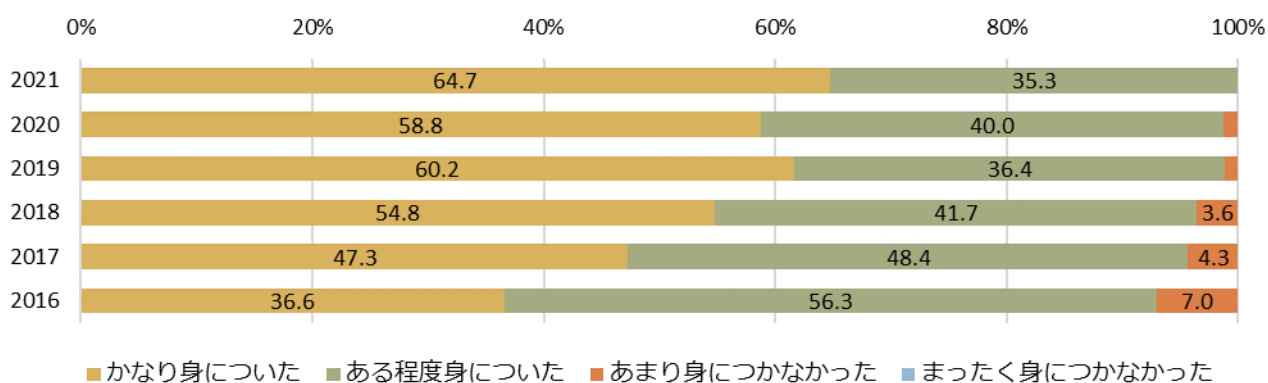
11. 継続的な看護を提供するマネジメント能力



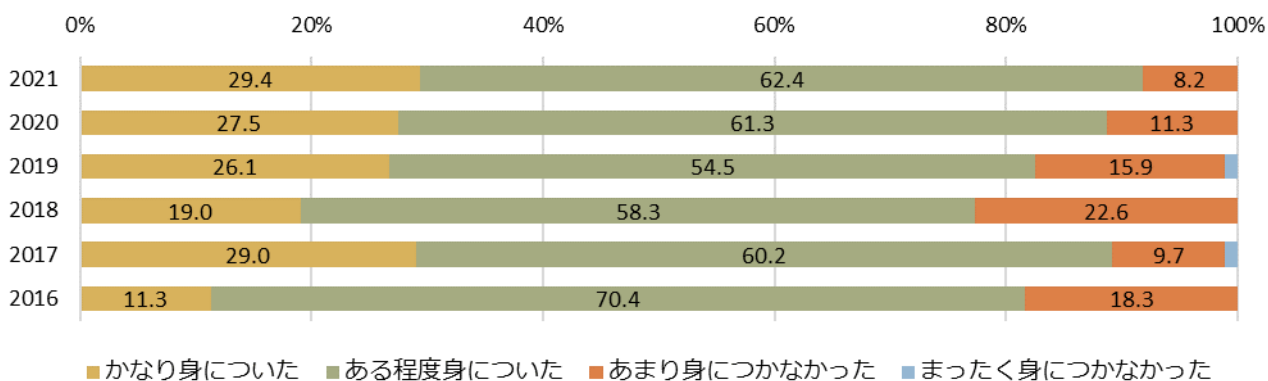
12. 看護に関する事象を研究的に考える能力



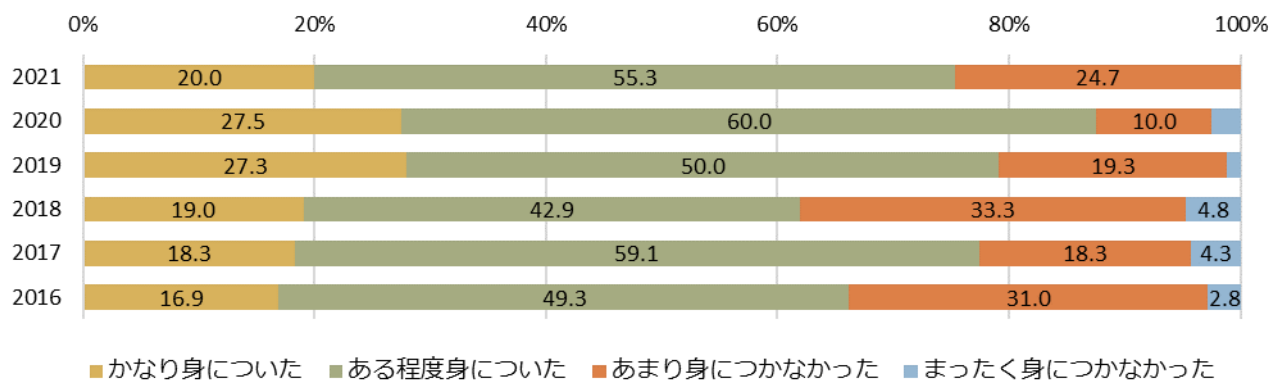
13. 患者・家族に対するコミュニケーション能力



14. 医療における情報収集に IT 技術を活用する能力



15. 語学や世界情勢への関心など、国際的な視野



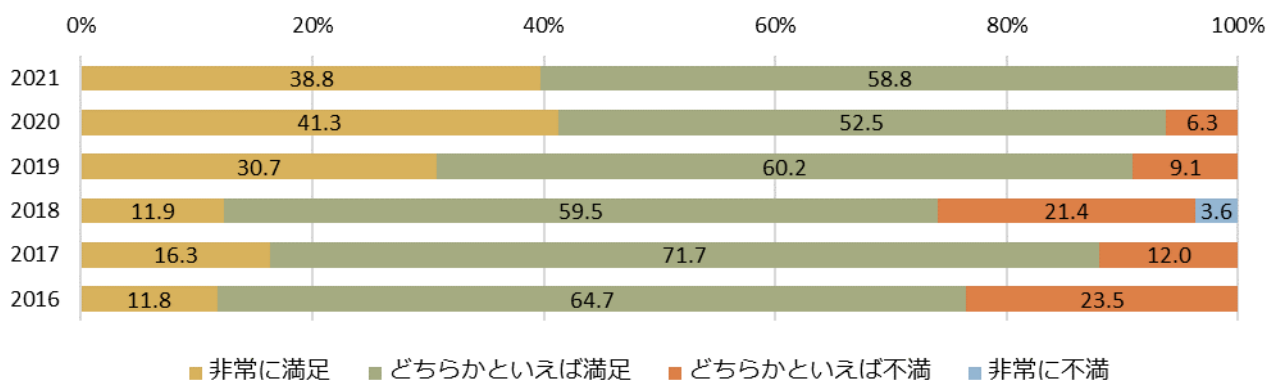
問 3. 東京医科大学の各カリキュラムにどのくらい満足していますか。

カリキュラムの満足度を問う 10 項目である。

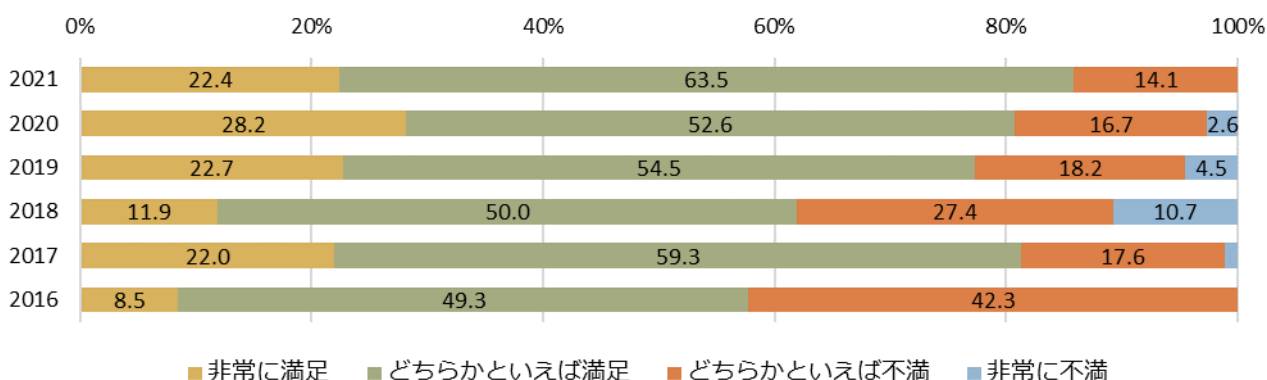
2021 年度は、専門科目の講義・演習・実習に関する 7 項目全て（「4. 看護の基礎」、「5. 生活環境と看護の対象」、「6. 看護援助の方法」、「7. 看護提供の仕組み」、「8. グローバルヘルス」、「9. 看護の統合」、「10. コミュニティヘルスケア」）で、「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が 95%以上であった。また、専門科目以外についても、「1. 一般教育系科目」と「3. 専門基礎科目」は、「非常に満足」「どちらかという満足」の合計がいずれも 100%だった。唯一、「2. 語学の授業」に関しては、「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が、85.9%に留まった。

経年変化を見ると、2016 年度から「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が増加している。

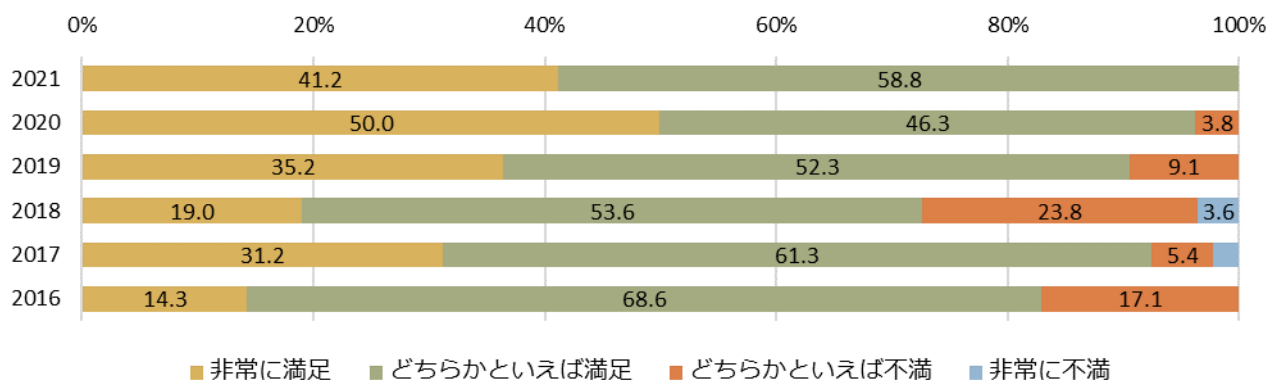
1. 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）



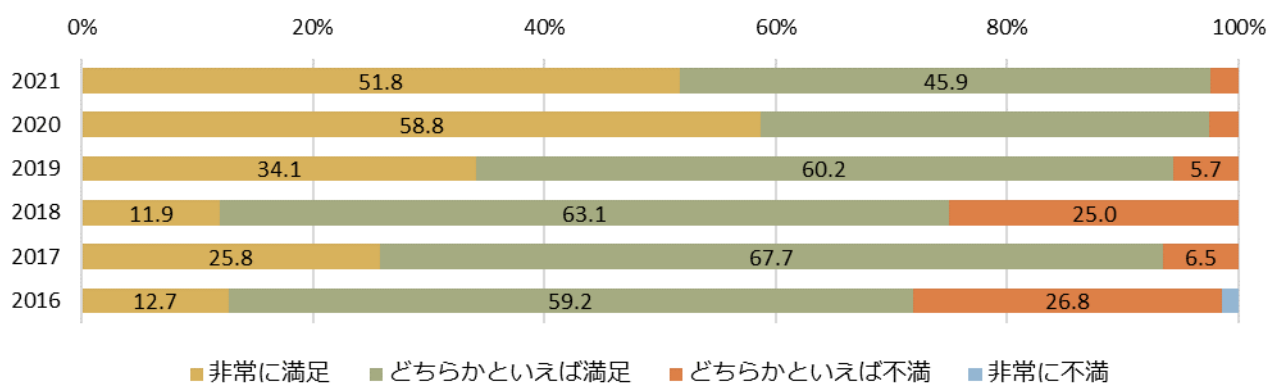
2. 語学の授業



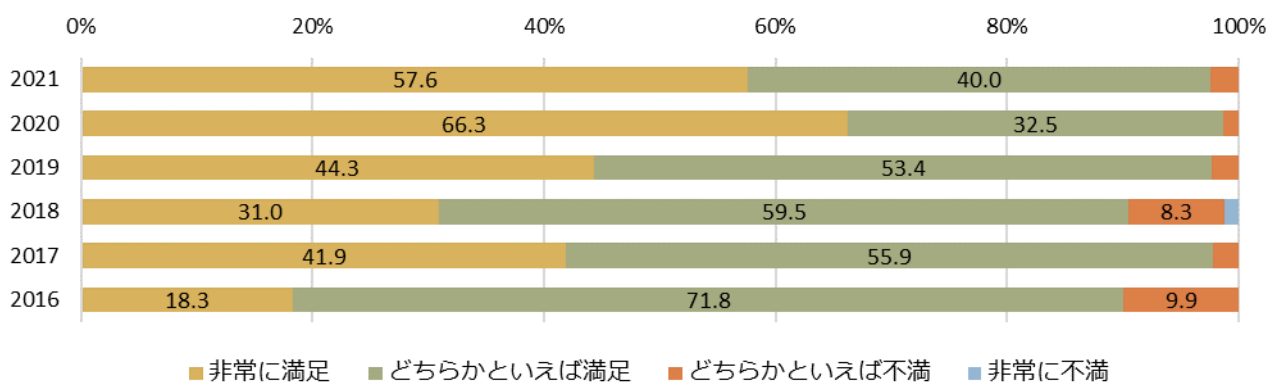
3. 専門基礎科目の講義・演習：病気と治療、保健医療福祉の仕組み



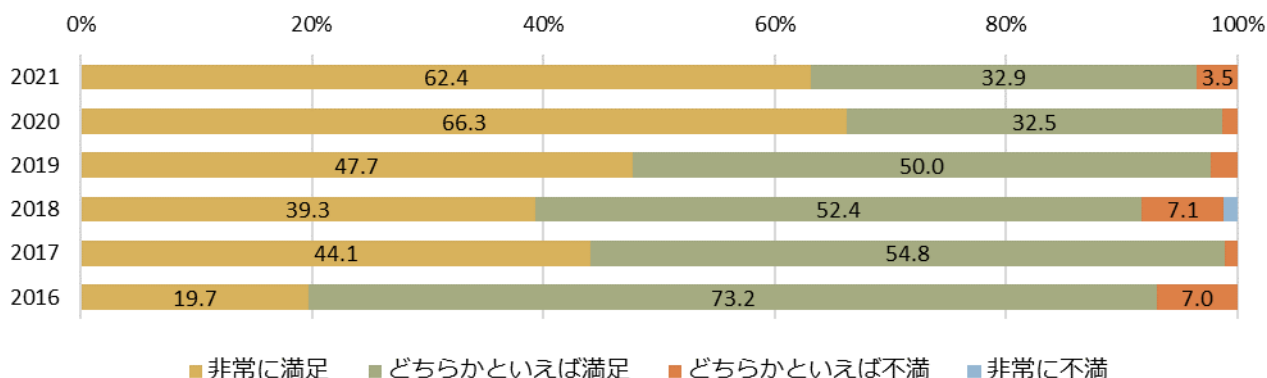
4. 専門科目の講義・演習・実習：看護の基礎



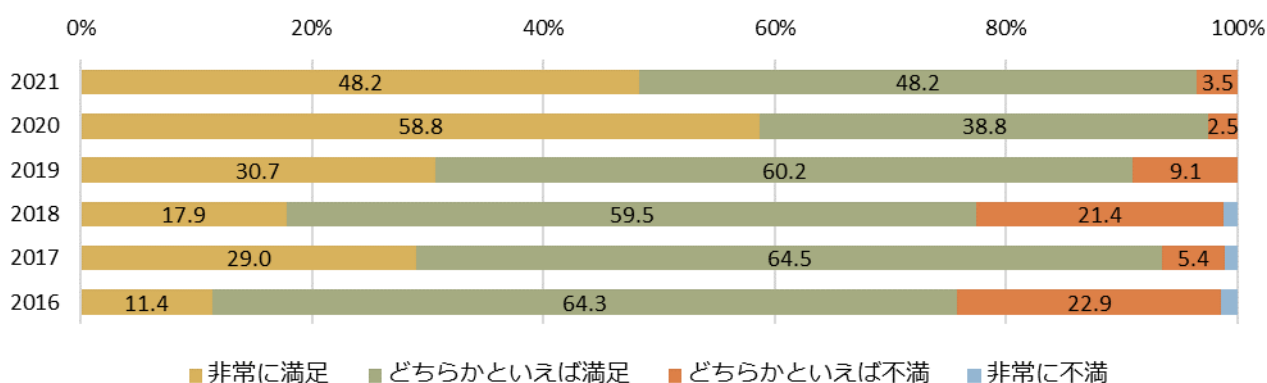
5. 専門科目の講義・演習・実習：生活環境と看護の対象



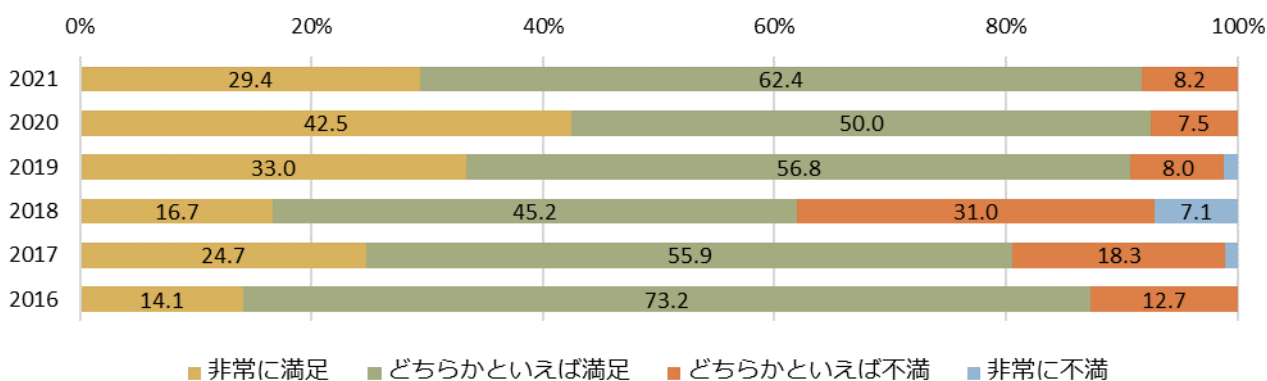
6. 専門科目の講義・演習・実習：看護援助の方法



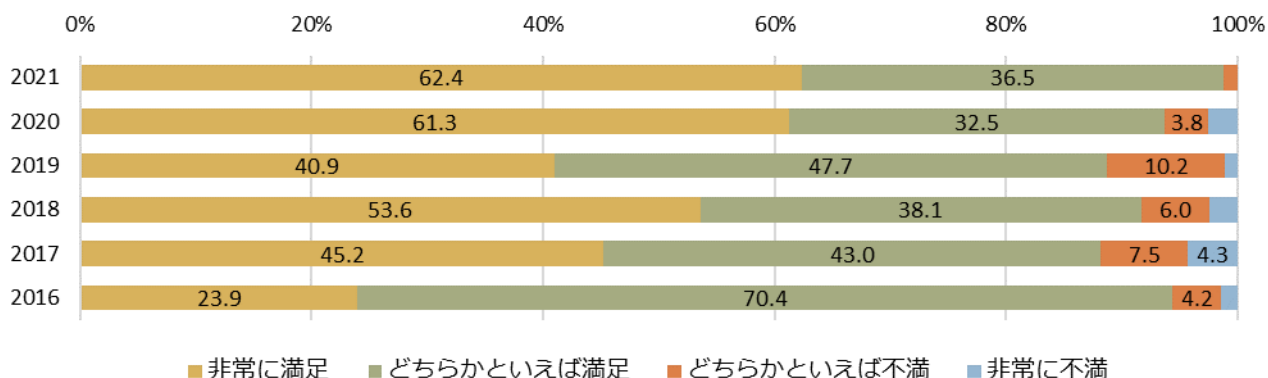
7. 専門科目の講義・演習：看護提供の仕組み



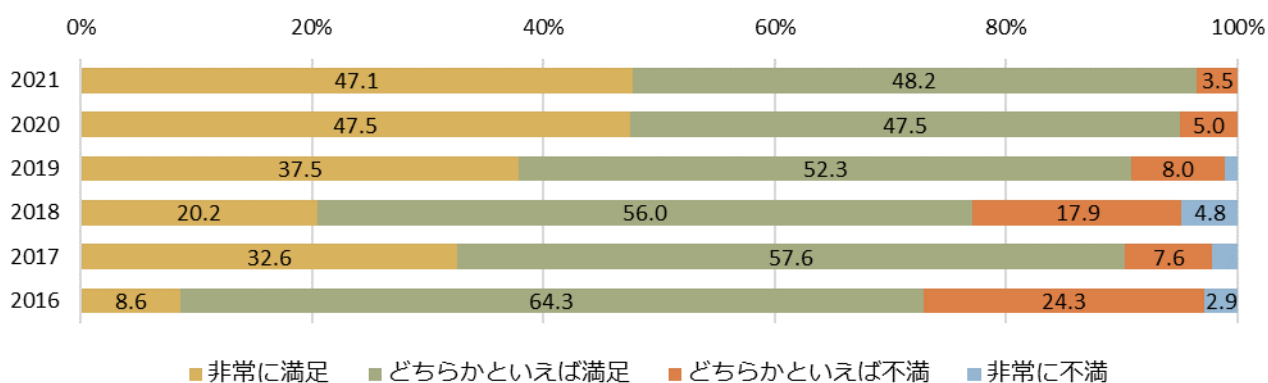
8. 専門科目の講義・演習・実習：グローバルヘルス



9. 専門科目の講義・演習・実習：看護の統合



10. 専門科目の講義・演習・実習：コミュニティヘルスケア



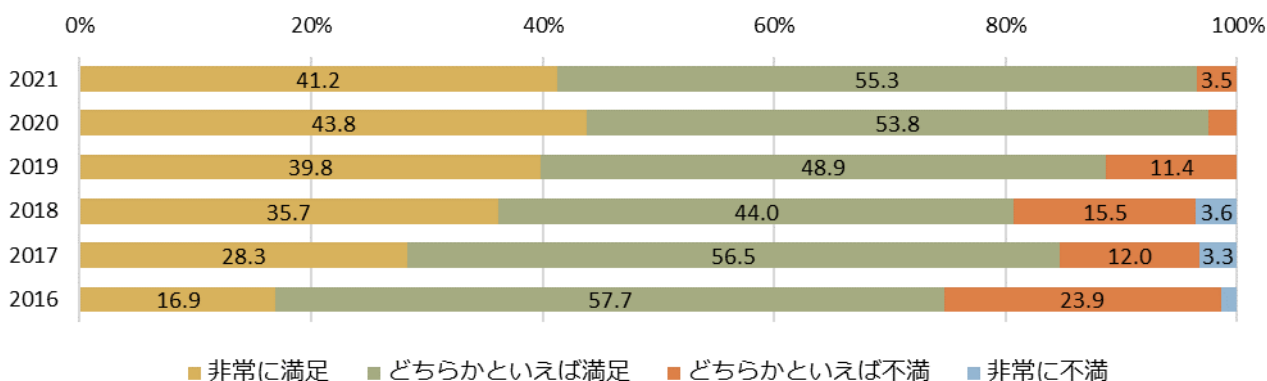
問 4. 東京医科大学の設備・環境にどのくらい満足していますか。

設備や環境について問う 6 項目である。2021 年度から学生食堂が廃止になったため、昨年度からその項目は削除している。

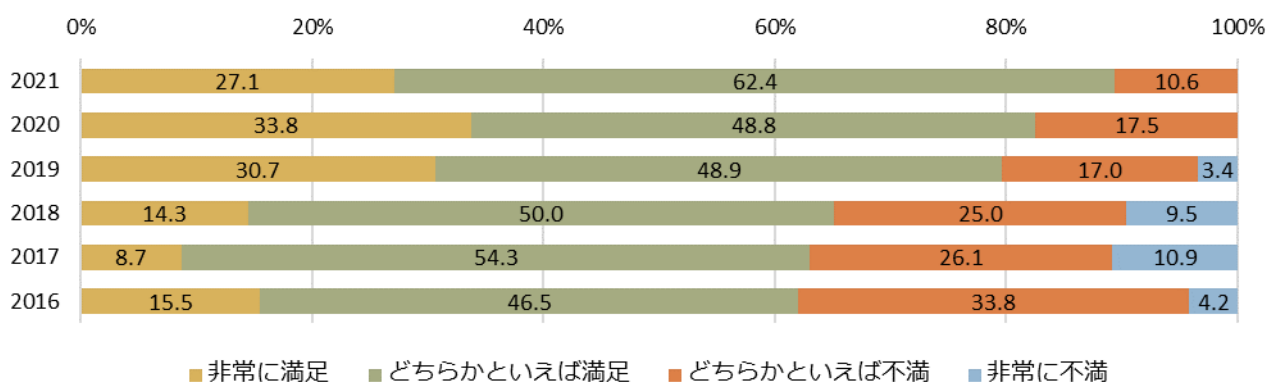
2021 年度は、「1. 教室・実習室等の設備環境」、「3. 情報処理教室の設備」、「4. iPad および学内の Wi-Fi 環境」の 3 項目で、「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が 90%を越えた。

経年変化を見ると、概ね全ての項目で 2016 年度より「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が増加する傾向にあるが、「3. 情報処理教室の設備」、「5. 自習室やフリースペースの設備」、「6. 記念館（体育館）・グラウンドの設備」については、「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計が 2020 年度から 2021 年度にかけて減少している。

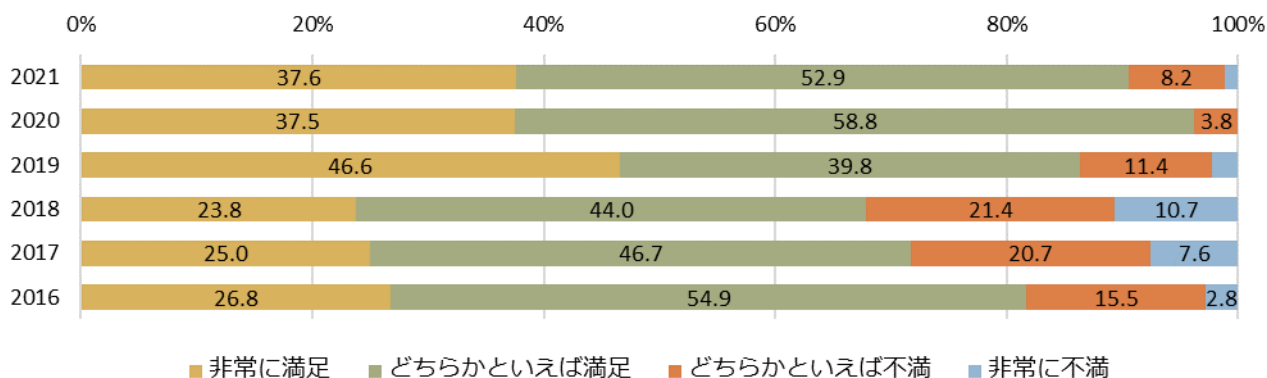
1. 教室・実習室等の設備環境



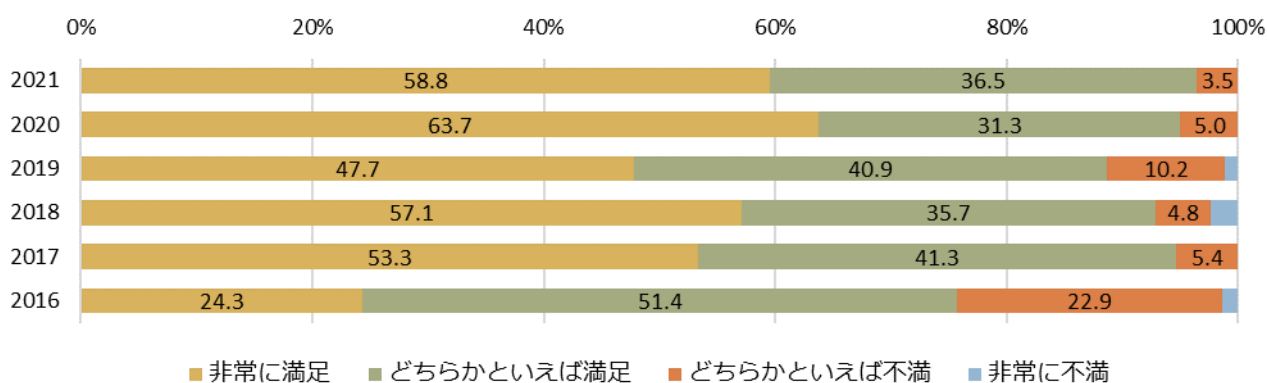
2. 図書館の環境や設備



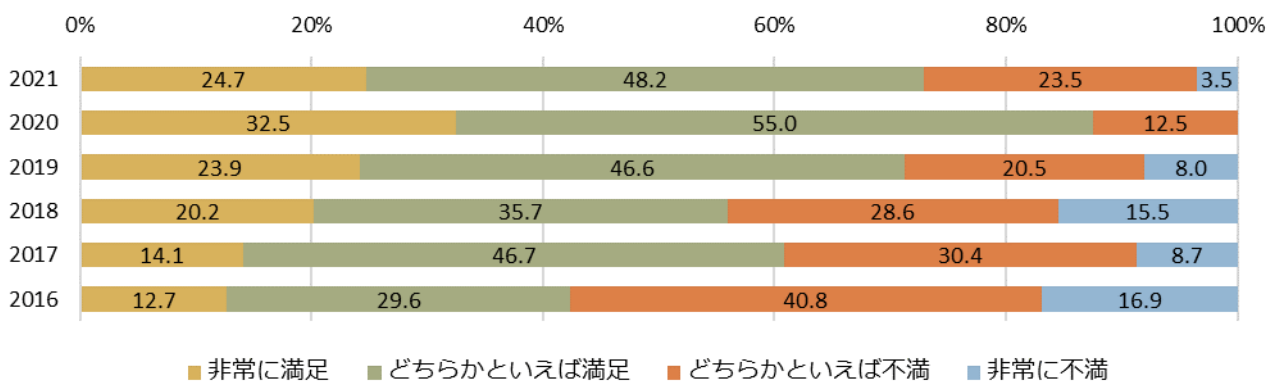
3. 情報処理教室の設備



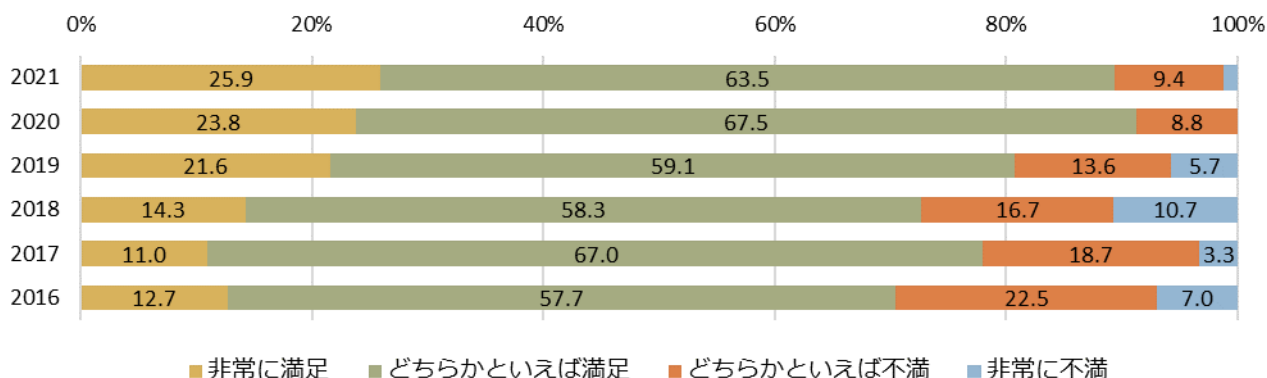
4. iPad および学内の Wi-Fi 環境



5. 自習室やフリースペースの設備



6. 記念館（体育館）・グラウンドの設備



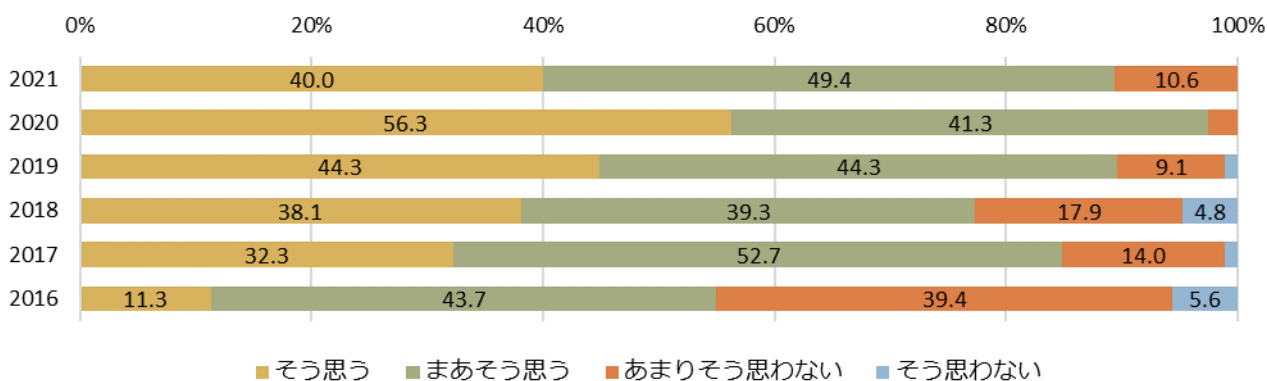
問 5. 東京医科大学でのシミュレーション教育について、どのように思いますか。

シミュレーション教育について問う 10 項目である。

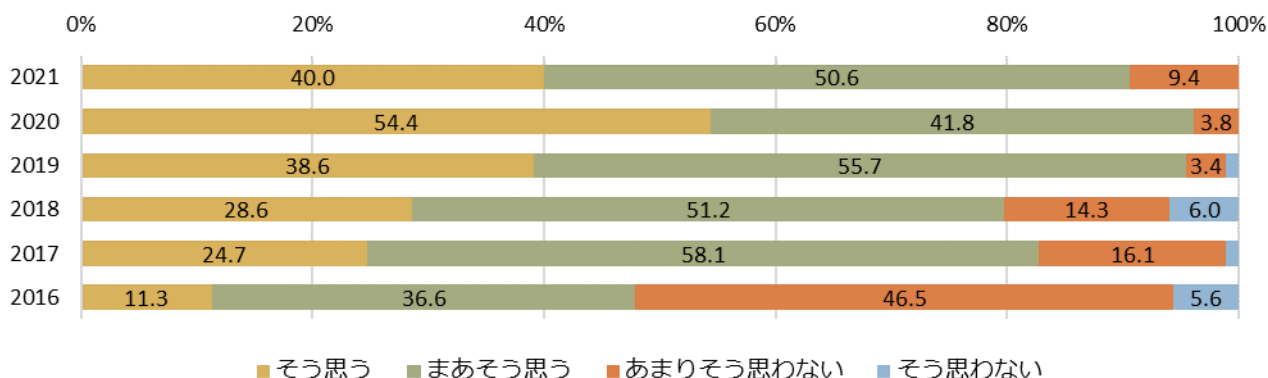
2021 年度は、2,3,4,5,10 の 5 項目で、「そう思う」「まあそう思う」の合計が 90%を越えた。「そう思う」「まあそう思う」の合計が 90%未満だったのは、「1. シミュレーション教育を十分に体験した」(89.4%)、「6. シミュレーション教育は、実習において対象者とのかかわり方（コミュニケーションなど）に役立った」(89.4%)、「7. シミュレーション教育は、実習での不安を少なくするものであった」(89.4%)、「8. シミュレーション教育を授業時間外で受けたり、活用したりした」(85.9%)、「9. シミュレーション学習を自主的にいつでもできる環境にあった」(78.6%) だった。

経年変化を見ると、概ね全ての項目で 2016 年度より「そう思う」「まあそう思う」の合計が増加する傾向にあるものの、「8. シミュレーション教育を授業時間外で受けたり、活用したりした」以外の項目全てにおいて、「そう思う」「まあそう思う」の合計が、2020 年度から 2021 年度にかけて減少していた。

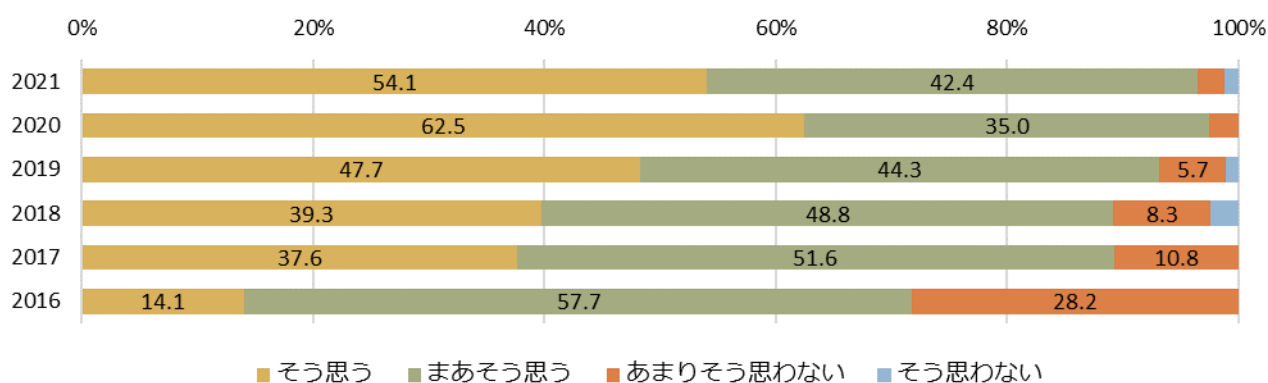
1. シミュレーション教育を十分に体験した



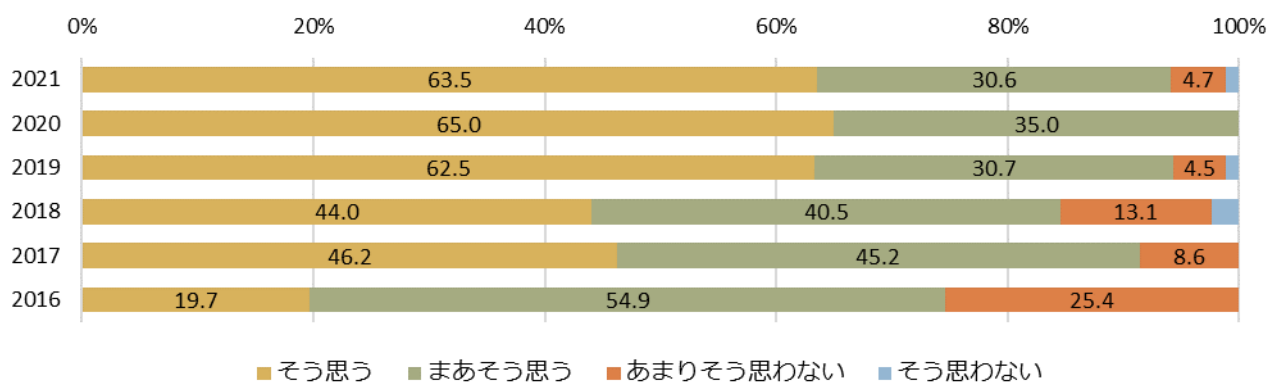
2. シミュレーション教育は、自分のニーズにあったものが提供されていた



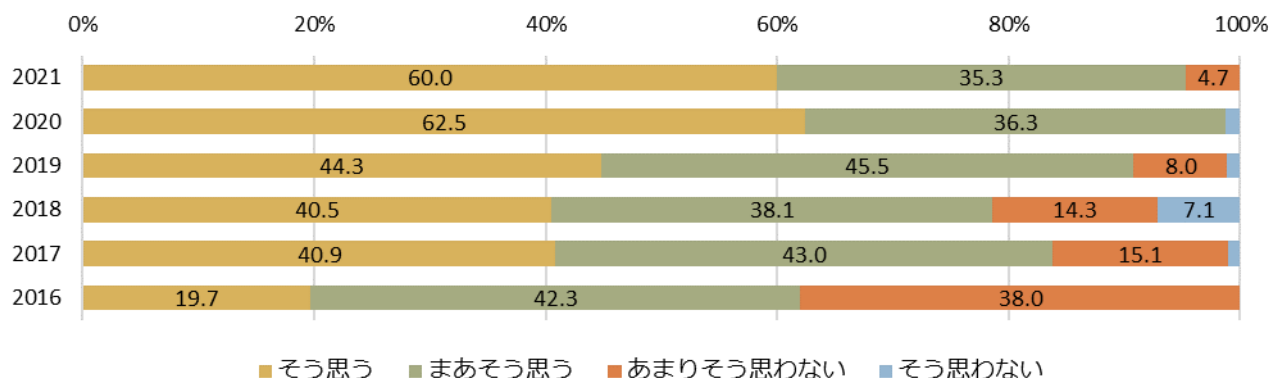
3. シミュレーション教育は、看護の思考過程に役に立った



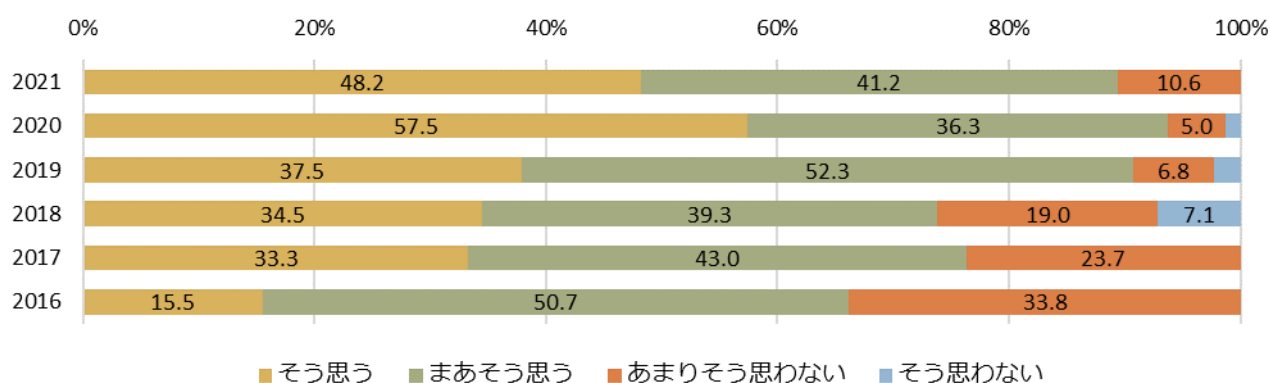
4. シミュレーション教育は、看護技術の向上に役に立った



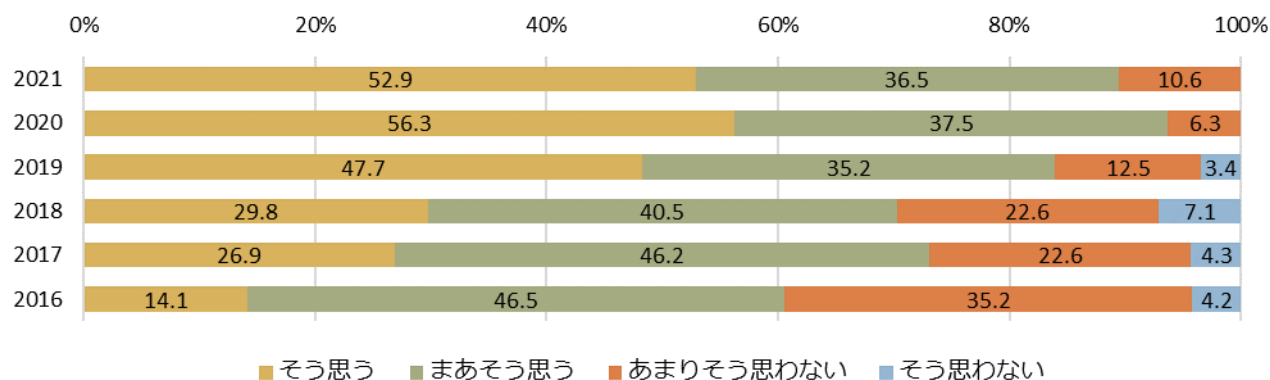
5. シミュレーション教育は、実習で役に立った



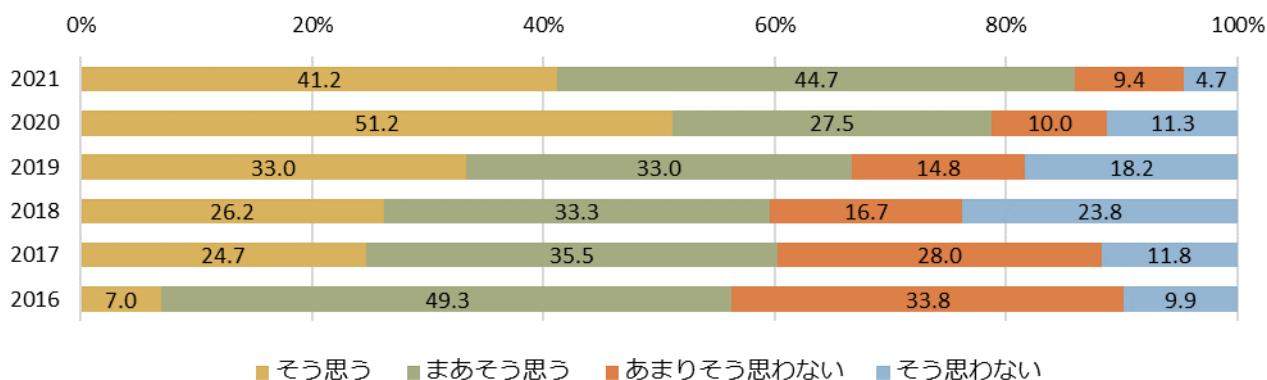
6. シミュレーション教育は、実習において対象者とのかかわり方（コミュニケーションなど）に役立った



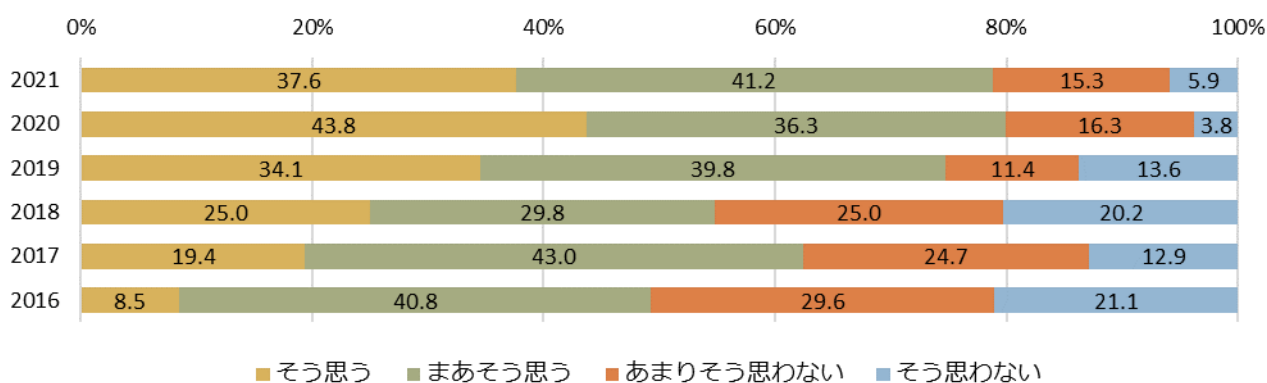
7. シミュレーション教育は、実習での不安を少なくするものであった



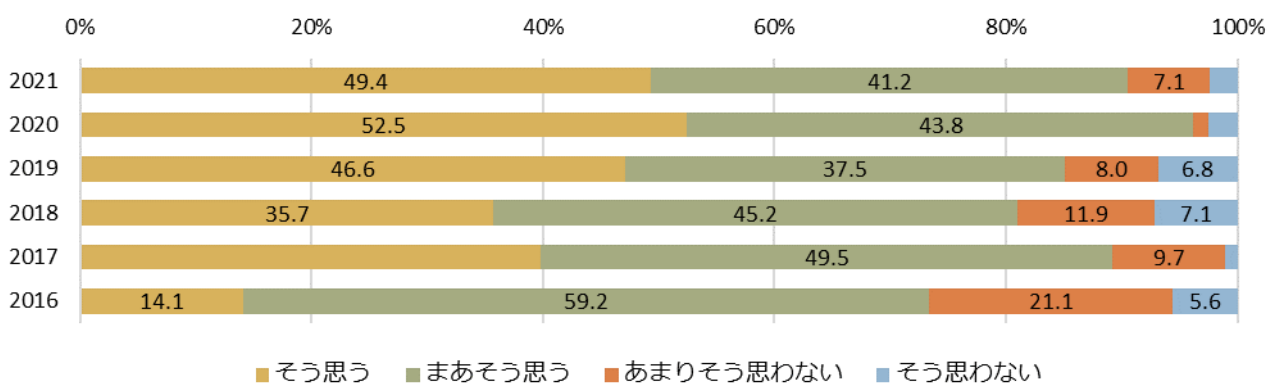
8. シミュレーション教育を授業時間外で受けたり、活用したりした



9. シミュレーション学習を自主的にいつでもできる環境にあった



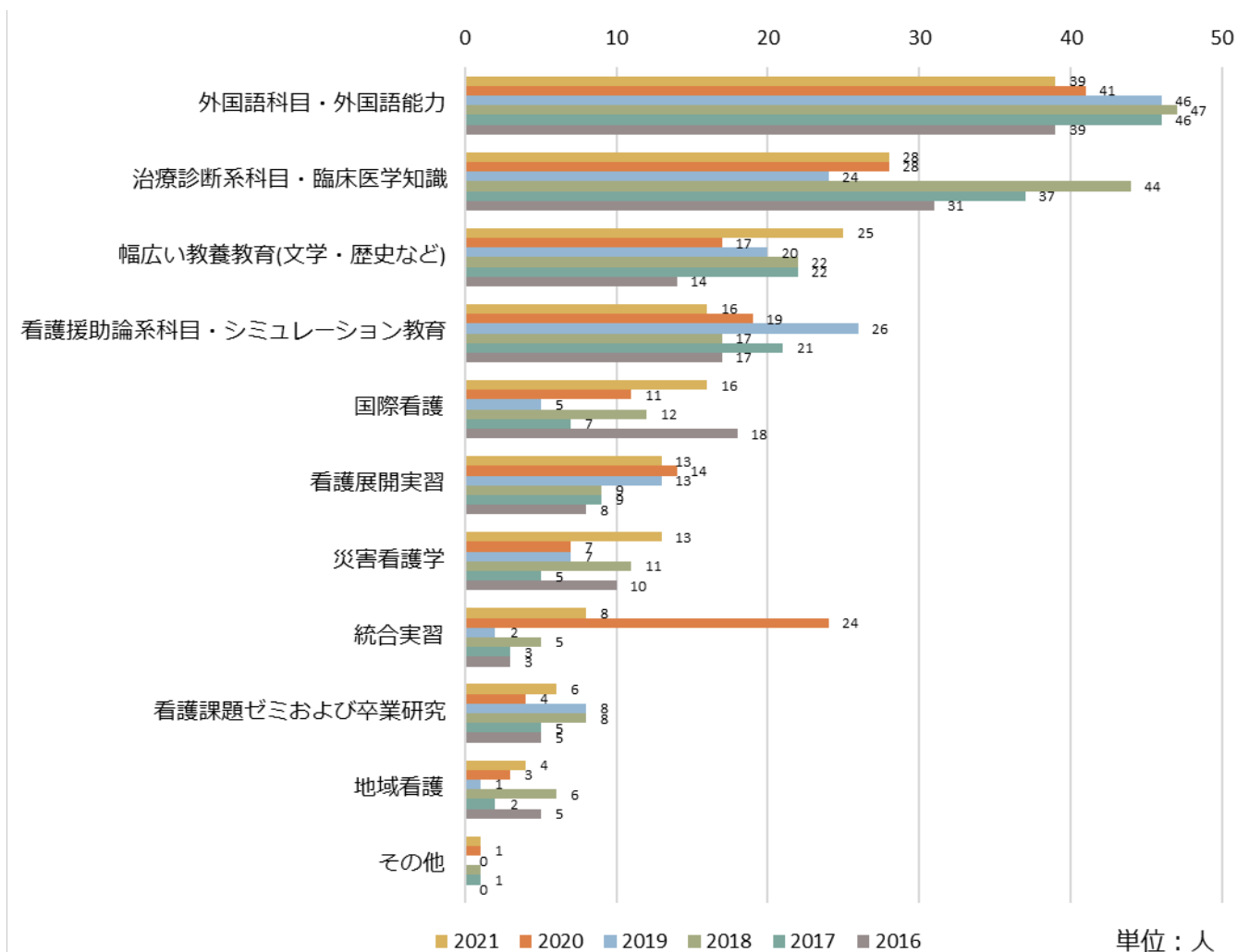
10. シミュレーション学習の場（教室や実習室）などは十分に整備されていた



問 6. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったと思うことはありますか。
(複数選択)

学生の学びに関する不足感を問う項目である。

2021年度は、例年通り、「外国語科目・外国語能力」、「治療診断系科目・臨床医学知識」と回答した者が多いが、「幅広い教養教育(文学・歴史など)」、「災害看護学」に関しては、他の年度と比べて、不足感を感じている学生が多い傾向にあった。



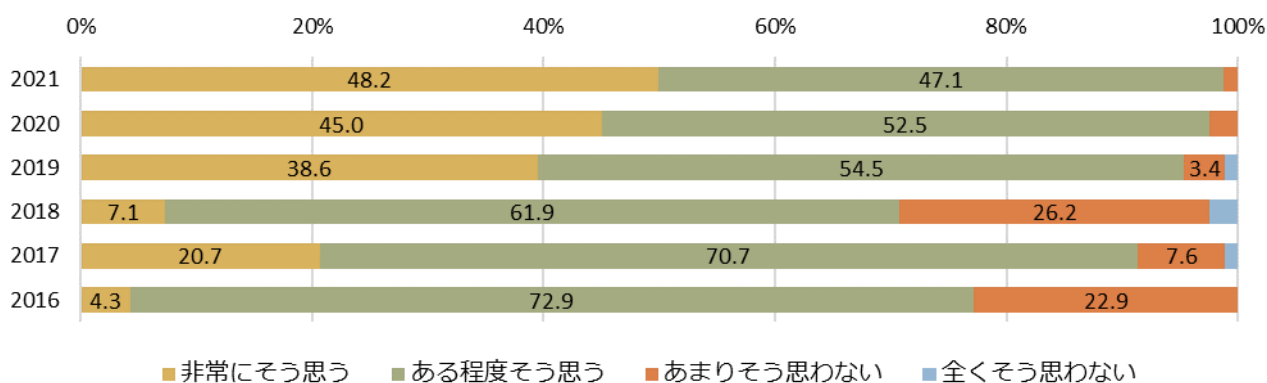
問 7. 東京医科大学を総合的に見て、どのように感じていますか。

全体的な満足度を問う 3 項目である。

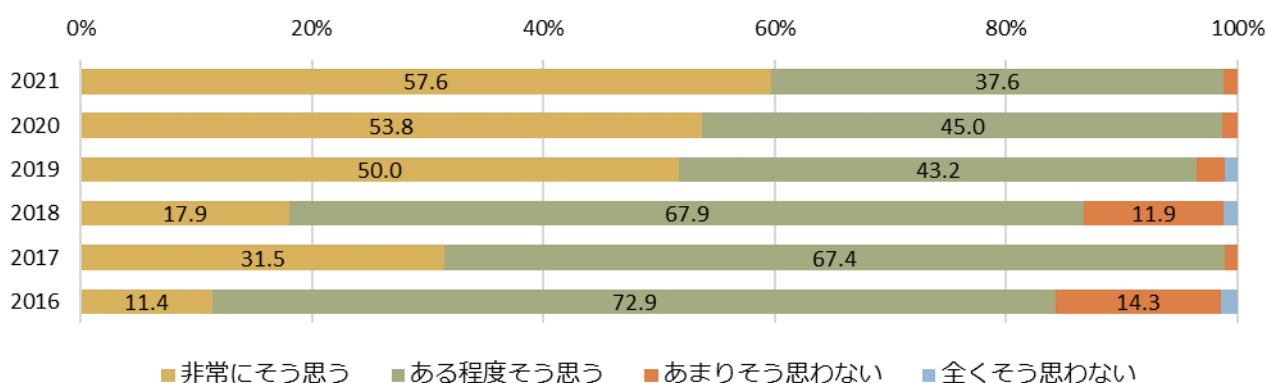
2021 年度は、全ての項目で、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」の合計が 90%を越えた。特に、「1. 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」(95.3%)、「2. 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立ちそうだ」(95.2%) に関しては、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」の合計が 95%以上だった。

経年変化では、3 項目全てにおいて、2016 年度から 2021 年度にかけて途中の増減はあるものの、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」の合計が増加した。

1. 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している



2. 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立ちそうだ



3. 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい

